

患者さまへ

「大腿骨近位部骨折に対する術後 48 時間以内の早期離床が 術後合併症および術後 1 年の歩行再獲得に与える影響」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2020 年 1 月より 2022 年 10 月までに湘南鎌倉総合病院外傷センターで手術を受けた 65 歳以上の大腿骨近位部骨折(股関節の骨折)の方
2 研究目的・方法	<p>大腿骨近位部骨折(股関節の骨折)の治療は、骨折して 48 時間以内に手術を行い、手術後翌日には離床(ベッドから立ち上がって活動)することが推奨されています。早期に手術を行い、早期に離床することは、合併症(肺炎や認知症の悪化など)や死亡率の低下、入院日数の短縮などの効果があることが報告されていますが、受傷前と同等の歩行が可能になるのかに与える影響は分かっていません。</p> <p>本研究の目的は、大腿骨近位部骨折(股関節の骨折)に対し手術後翌日に離床することが、手術後 1 年後に骨折をする前と同じように歩けるかどうかに影響を与えるかと調べることです。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024 年 8 月予定)後~2024 年 12 月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、身長、体重、受傷前住居、受傷前歩行様式、骨折型、既往歴、認知症の程度、手術までの日数、離床までの日数(車椅子、平行棒内歩行、歩行器歩行、杖歩行)、湘南鎌倉総合病院の入院日数、合併症の有無、術後 1 年の歩行様式 等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 片田昌志 湘南鎌倉総合病院 リハビリテーション科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p>